



学校だより



2月号

令和4年2月1日
横浜市立善部小学校
校長 福田 美穂

「鬼は外、福は内」

副校長 吉田 直好



「鬼は外、福は内」と声を出しながら豆をまく節分。一般的に邪気を払い、無病息災を願う行事といわれています。寒さが厳しい2月には、「邪気が入りやすい」、ひいては「体調を崩しやすい」と考えられ、新たな年を迎えるにあたって、邪気を祓い清め、一年間の無病息災を祈る行事としての意味もあります。いわゆる「第6波」が猛威を振るっている現在、健康への願いを込めて「鬼は外、福は内」と豆をまくと同時に、食事と睡眠をしっかりととり、免疫力や抵抗力を高めて、体調管理に努めたいものです。

豆まきは普段の自分を振り返るよい機会でもあります。今年の節分は2月3日(木)。子どもたちは自分の中のどのような鬼を追い出そうとしているのでしょうか。「ついつい、後回しにしてしまう面倒くさがり鬼」「してはいけないことを、だれも見っていないからとささやく鬼」「自分さえよければ大丈夫、というわがまま鬼」などなど。反対に、「招き入れたい福(成長させたい自分)」も意識したいです。追い出したい自分の姿、成長したい自分の姿を明確にすることで、言葉が、行動が少しずつ変化します。私も、お正月にたてためあてをもう一度振り返り、今一度、心を引き締めます。

今年度、PTA 学年学級委員さんに新たに「web ベルマークの導入」をしていただき、また地域店舗への「トナーカートリッジ回収の新規依頼」をしていただきました。ご家庭、地域の皆様の多大なご協力により、多くの点数が集まりました。委員の皆さん、ボランティアの皆さんに集計もしていただきました。おかげさまで、今年度、各クラスにドッジビーを2枚ずつ配付することができます。2月の朝会で紹介し、渡す予定です。子どもたちがドッジビーを使って、校庭で元気よく遊ぶ姿が目に見えそうです。思い切り体を動かすことで体力向上が図れます。友達とのかかわりの中で豊かな心が育めます。ご協力いただいた皆様に、この場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございます。



<柔らかい素材のフライングディスクです>